

平成 24 年度

東京都教職員研修センター紀要

第 12 号

平成 25 年 3 月

はじめに

今日のグローバル化した社会においては、様々な文化や価値観をもつあらゆる国々の人々と互いに尊重し合い共存していく力や、変化の激しい社会を力強く生き抜く力が求められています。社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献することができる心の豊かな人間を育てることは、子供たちが新しい時代を切り拓いていく「生きる力」を身に付けることにつながります。

東京都教育委員会では、「東京都教育ビジョン（第2次）」（平成20年5月）を策定し、東京都が目指すこれからの教育の柱として、「社会全体で子供の教育に取り組む」ことや「生きる力をはぐくむ教育を推進する」ことを位置付け、これまでに様々な施策を展開してまいりました。その中で、「視点3 子供・若者の未来を応援する」においては、「子供の自尊感情や自己肯定感を高めるための教育の充実」や「確かな学力の定着と伸長」が挙げられています。

そこで、東京都教職員研修センターでは、今年度、「自尊感情や自己肯定感に関する研究（5年次）」と「教科基礎調査研究（1年次）」に取り組み、変化の激しい今日の社会を力強く生きる力の基盤となる、自分に自信をもち、「確かな学力」を身に付けた子供を育成するための指導の在り方について研究を行いました。

「自尊感情や自己肯定感に関する研究（5年次）」については、研究の最終年度として、これまでの4年間の研究成果を普及・啓発することを目的として、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に研究推進校・園を設置し、研究を推進してまいりました。本研究紀要では、5年間の研究成果とともに、子供たちの自尊感情や自己肯定感を高める教育の普及・啓発の具体的な実践内容を掲載しています。

また、「教科基礎調査研究（1年次）」については、「次世代を担う人間づくり未来を創る人間づくり」を研究のコンセプトに、どのような大人・社会人を育てるのかという長期的な展望に立った指導の在り方を、国語、社会、算数・数学、理科、外国語の5教科について、小学校、中学校、高等学校の系統性を踏まえて研究してまいりました。本研究紀要には、1年次の研究の中心として、全都における児童・生徒の学習に対する意識や教師の指導の実態調査をまとめています。

各教育委員会や学校におかれましては、本研究紀要に掲載した研究内容等を、教育課程の工夫・改善や教員の資質・能力の向上、家庭や地域に対する啓発など、教育課題の解決に向けて活用していただければ幸いです。

結びに、当センターの教育課題研究の推進に当たり、研究推進校・園、研究調査委員、関係教育委員会をはじめ、様々な調査に御協力いただいた各教育委員会や学校・幼稚園の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に御礼を申し上げます。

平成25年3月

東京都教職員研修センター所長
高野敬三

目 次

自尊感情や自己肯定感に関する研究（5年次） 3

教科基礎調査研究（1年次） 49